

# しまねの海を守ろう!

いま、世界で問題になっている「海ごみ」。私たちの身近な海にもごみは進入し、多くの生きものを苦しめています。山・街・川・砂浜…私たちの生活は全て海につながっている。美しい海や、海の生きものはしまねの「宝物」。もうこれ以上、人間が出すごみで生きものを苦しめる訳にはいかない。宝物を未来につなぐためにも、ごみの侵入を食い止めよう!!



## 海と天然記念物をごみから守る 住民たちの奮闘!

砂浜に足を踏み入れると「キュッ! キュッ!」と歯切れよく可愛い音がすることで知られる琴砂浜。浜の砂の大部分を占める石英の粒が音の源で、日本有数の鳴砂海岸として平成29年に国の天然記念物に指定された。そんな貴重な浜が、押し寄せる海ごみに侵されては大変!と、大田市は県内初のビーチクリーナーを導入。この頼もしい機械を操って月一回の清掃活動に取り組んでいるのが、地元の任意団体「砂の里馬路(まじ)」のみなさんだ。浜にはさまざまなごみが散乱するが、ビーチクリーナーが通った後はまるで絨毯を敷いたようなきれいな砂の帯に変わる。これはすごい!と思いきや、クリーナーが掻き出せるのは地表からせいぜい10数センチくらいまで。ときおり行われる企業の奉仕活動や、住民が日頃から気がついたごみを拾い集めることで、浜の環境はかろうじて保たれている。しかしその下にはまだ膨大な量のごみが埋まっているという。鳴砂のまじ馬路には、人知れず地域の環境を守り続ける素直な人たちがいる。



砂に埋まっていた比較的小さいごみ  
住民や企業の奉仕作業も



## 斐伊川水系の環境を守る カッコイイ船「おろち丸」(松江市)

宍道湖・中海一帯の流木や漂着ごみ、浮遊ごみを回収して処分場に運んでいるのが、国土交通省出雲河川事務所が所有するちょっと変わった形の船「おろち丸」だ。湖岸に多く打ち上げられるごみの多くはヨシや竹だが、ペットボトルや廃棄物も見られるとのこと。特に大雨や台風のおあとはごみの量が多くなるそうだ。宍道湖や綺麗な水辺は観光の要だ。しまねにはそんな水辺を守るカッコイイ船や人たちがいる。わたし達にもごみは家庭で適切に処理をする、ポイ捨てなんて絶対しないなど実践できることが沢山ある。



## きっと見たことがある 「ごみのある風景」

周りに目を配りながら外を歩くと、その場にはあってはならない「ごみ」がまるで当然のように、風景に溶け込んで落ちています。溢れたごみ箱の横に・木の植え込みに・建物の隙間に…風が吹いて飛ばば、川や水路に落ちて海に侵入してしまふ。自分のごみは自分できちんと処理しよう!それだけで、街の中でごみを食い止めることができる。

### まちなか

ごみ箱が無いから…と植木の影やビルの隙間に置いていかないで!

お祭りなどで見かける溢れるごみ箱やペットボトルそのままにしておくで風で飛んで行ってしまふよ! 家を持って帰る処理しよう

### 海辺

壊れた釣り具や釣りのごみは放って帰らないで!

間違えて食べちゃうよ! 流れてこないで!

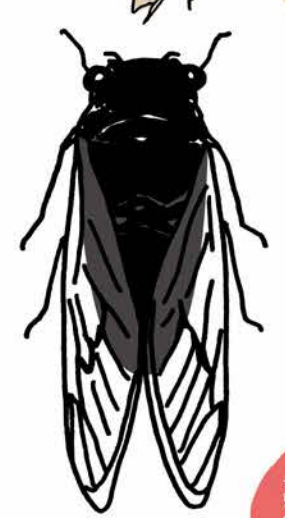
### 住宅地

台風が来るときは庭に出っぱなしのじょうろやプランターを片付けて! 飛んで行ってごみになってしまふよ



# セミと環境知識

抜け殻を集めていると、場所によってセミの種類が偏るかもしれません。多くの生き物と同じく、セミにも「好き・生きられる環境」があります。森の中、決まった木、街の中、湿地など、好きな場所は様々で逆に「嫌い・生きられない環境」というものもあります。



## クマゼミ

日本で一番大きなセミだよ。羽ばたく力も強く、鳴き声も大きい! 暖かい場所が大好きだけど、最近は北の方でも見かけることがあるんだって! 温暖化の影響かもって話もあるよ。

## ハルゼミ

名前のお通り「春に鳴くセミ」。広いマツ林にすんでいて4~6月頃に鳴くよ。マツ林の減少や農薬の散布で数が減ってきていて、生息地は島根県の中でも限られているよ。

## せみちゃんじ

見つけた抜け殻の絵を描いてみよう!



## ニイニイゼミ

幼虫の時は湿度が多い土の下ですごすよ。ほら、抜け殻が泥んこでしょ。アスファルトや整備された公園など乾燥した土地がちよっと苦手!



## せみちゃんじ

抜け殻とセミを線でむすんでみよう! どの抜け殻がどのセミのものかわかるかな?

ヒゲラシ ミンミンゼミ ニイニイゼミ アブラゼミ ハルゼミ クマゼミ ツクツクボウシ

## これが主流になる!? エコ最先端! / 代替プラスチック



プラスチックと賢く付き合ひ、海洋プラスチックごみを減らす取り組み「プラスチックスマート」のロゴマーク。

分解されず、半永久的に残る「海洋プラスチックごみ」が2050年までに魚の重量を上回る!? そんな驚くことが予想される今、飲み物のストローの素材が紙や木、竹になったり、植物由来のカップが採用されたり、お店のビニール袋が紙袋になったり…。世界の動きを素早くキャッチしたお店や人からプラスチックとの関わり方が見直されています。プラスチックを多用したサービスはもう古い。むしろ、アンテナが立って無いとさえ思われてしまふかもしれない。負の遺産を未来に残さない、環境に配慮した工夫が求められる時代です。使い捨てプラスチック製品との付き合い方から考えてみませんか。





# しまエコ オリジナル セミの抜け殻図鑑

しまエコ オリジナル  
三瓶自然館サヒメル 長谷川 啓木さん

セミは種類によって鳴き声や「抜け殻」にそれぞれ特徴があります。姿が見えなくても、辺りに生息するセミの種類が分かり、地中の幼虫の気配を感じられる！セミの抜け殻を探して観察してみよう。

春にもいるんです  
**ハルゼミ**  
の抜け殻

◆時期：4～6月  
丸っこくて小さく、色が薄いのが特徴


春に見かけたならそれは私にまちがいないわね



とにかくデカイぜ!  
**クマゼミ**  
の抜け殻

◆時期：7～9月  
体長3cm以上  
おなかにデボンのような出っ張りがある

デボンは新すかしけど...これが鬼の個性!



一番よく見かける  
**アブラゼミ**  
の抜け殻

◆時期：7～9月  
触角の周りに毛が多く、第3節が長いのが特徴

毛深いし、色も薄い！見つけやすいでしょ?



セミの鳴き声といえば  
**ミンミンゼミ**  
の抜け殻

◆時期：7～9月  
あまり毛はなく、触角は第2節と第3節の長さがほとんど同じ

アブラと似ているわよ。虫めがねで見るとおすすめね!



切ない鳴き声  
**ヒグラシ**  
の抜け殻

◆時期：7～9月  
背中が盛り上がっていて、触角は第3節より第4節の長い

ツクツクとちがって、ツヤがあるんだ!



セミ界の個性派  
**ツクツクボウシ**の抜け殻

◆時期：7～9月  
全体的に平べったく、背中にツヤがない


1月によく鳴く



全身泥だらけ!?  
**ニイニイゼミ**  
の抜け殻

◆時期：7～8月後半  
丸っこくて小さく、全身が泥で覆われている

泥っけい場所とか泥が好きなんだよ...



鳴き声と一緒に脱皮して見つけておくれ!

抜け殻あるところに鳴き声あり!



オロチさんと、しろくまさんのいきものを守ろう!

- あつだーん!!!どこかでひっそりと生きとるかね!?何色で、何を食べとるやつかいな??どんな声で鳴くんかいな...夢があるわあー、わし全部に会いたいわ!
- 見てくださいこの生き物!黒くて足がいっぱいあって丸まる...!これ新種の虫ですよオロチさん!
- はあ?新種?何言っちゃうかね~それ「ダンゴムシ」だがや。新種の生き物なんかおる訳無いがね。
- えー何ですか?地球に生きる動物物の約90%は未発見と言われてるんですよ。今日、彼らに会えるかもしれないじゃないですか!
- はええええ??どういうことかね!?わし、いっぱい生き物知ってるで。大きな図鑑持つとるもん!
- 図鑑に載っている数より、はるかに多くの生き物がこの地球にはいますよ。陸上の生き物の約80%以上、海の生き物の約90%の姿を私たちは知らないと言われてるんです。
- 会いたいですよね...でも、難しいかもしれません。彼らは会おう前に、日々声も無く絶滅していると言われてます。その速さから、地球の歴史上6度目の「大量絶滅の危機」と言われるくらいです。
- 絶滅!?なしてかね!?
- 「地球温暖化」や人為的な環境変化のせいです。一言で「地球温暖化」と言うと、ただ暑くなったり、農作物や天気に影響があるイメージですが、それだけでは無く、変化に対応できずに滅びる生き物達がいます。
- そ、それは大変なことだわね((ガクガクブルブル))どうにかせんといけん!わしは未来で全部に会うんだけん、守らんといけん!
- よー!みんなで頑張らましよう!今、絶滅が心配されている生き物も、まだ発見されていない生き物も全部守れるように、考えてみましょう!

しまねのエコ技

豊かな田舎の風景に価値を生み出す「群言堂」

「復古創新」を合言葉に、古きを活かし、時代に合った進化を続けている群言堂。世界遺産石見銀山のまち大森、そこはかたじけなく感じさせる通りの一角にあるお店は、群言堂オリジナル服や、選りすぐりの雑貨、自然素材の生活用品、寝具などが並ぶショップ、そしてカフェやギャラリースペースも併設し、その人気からメディアの露出も多いブランド店だ。

細かな遊び心が至る所にちりばめられている店内の一角で見つけたのが、なんとも不思議な愛くるしさの「見守り鬼」。見守り鬼はなにもしないただ、あなたを見守る。鬼の色は、誰かが持っている5つの煩悩(赤「欲望」、青「怒り」、黄「後悔」、緑「倦怠」、灰「疑い」)を表しているそうで、その煩悩が自分の心に不意に顔を出した時に「大丈夫、そんなことあるある」と、この鬼を見ながらつぶやくだけで穏やかな心になれるという。「見守り鬼」は石粉粘土でできているが、そのほかクマザサの繊維を渡さこんだ和紙布や、和紙で作ったスリッパなども店内に並ぶ。

お買い上げの品を包むのも「水の巻」と呼ぶ植物プランクトンの網を字版で描いたオリジナル包装紙だ。自然素材をクールに活かし、エコな暮らし方をデザインする群言堂のコンセプトが多くの女性を惹きつけている。

紙のバスマットと和紙のスリッパ

群言堂 石見銀山本店  
〒694-0305 島根県大田市大森町4-183  
TEL: 085-939-0077  
https://www.gungendo.co.jp

(株)石見銀山生活文化研究所  
\三浦類さんのインタビューも掲載しています/  
しまねを楽しみ、未来へ繋ぐコラム。

しまねの自然や風土を思いっきり楽しみ、地域に根ざした「持続可能な暮らし」に繋がるひとを紹介しています

コラムの詳細内容はコチラから→

しまエコ 2019年度 Vol.16  
〒690-0887 島根県松江市南町9-3 (タウンプラザしまね2階)  
TEL: 0852-67-3262 FAX: 0852-67-3787  
http://www.nature-sanbe.jp/eco/

Twitter @しまねエコ  
Facebook しまねエコ  
Instagram しまねエコ

Vol.16 2019年度 I

COOL CHOICE 未来のために、いま選ぼう。

しまねのエコ技 群言堂の見守り鬼 (大田市)

数多の命が輝く海

# しまエコ

特集  
しまねの海を守ろう!  
海ごみの侵入をくい止める  
カッコイイ船「おろち丸」/鳴砂海岸を守る人たち  
エコ最先端!代替プラスチック

しまエコ オリジナル  
セミの  
抜け殻図鑑

